



令和元年11月15日
第827号

一般財団法人日本遺族会
〒100-0001 東京都千代田区七号
九段南一丁目六番三階 5521
千代田会館 3261
電話 03-3261-2538 盛川発行
電報掛 0160-6-2538 発行人 回15日
定価 毎月1部130円(税込)

日本遺族会は国の礎となられた英霊顕彰をはじめ、戦没者の遺族の福祉の増進、慰藉救済の道を開くと共に、道義の昂揚、品性の涵養に努め、世界の恒久平和の確立に寄与することを目的とする。

靖国神社 創立150年記念大祭 秋の例大祭にあわせて斎行

東京、靖国神社では、今年で御創立百五十年を迎え、十月十七日から二十日までの四日間にわたり秋の例大祭並びに御創立百五十年記念大祭が斎行された。十八日の秋季例大祭には、天皇陛下から勅使が差し遣わされ御幣が奉納され、十九、二十日の二日には記念大祭「第一日ノ儀」、「第二日ノ儀」が執り行われた。

新たに7柱を合祀

靖国神社秋季例大祭は、各界の代表など約五百人が十月十七日の「清殿」で始まり、午後七時から「新撰奉安祭」が斎行され、新撰奉安祭が斎行された。翌十八日午前十時、山口建史官以下約二百人が本殿に進み、皇軍陸軍軍歌奏進され、「山の幸」を演奏するなか、神饌を献じ



本殿に参進する神官=10月18日、靖国神社で

総理は平成二十五年の秋季例大祭から毎年、春秋の例大祭に大真禰を奉納している。

▲旭日小綾章 柴田義雄氏(83歳) 元本会理事 愛知県遺族連合会会長



柴田義雄氏



谷垣禎一氏

百五十年を寿ぐとともに、我が国が平安であることを祈念する旨の祝詞を奏上した。十九日の第一日ノ儀には水落会長他約六百五十人が参列し、二十日の第二日ノ儀には約千四百人が参列した。また、大祭にあわせて、安倍晋三内閣総理大臣、大高理業衆議院議長、山東昭子参議院議長、加藤勝信厚生労働大臣が「天真禰」を奉納した。安倍

国会議員165人が参拝

参拝 靖国神社秋季例大祭に参拝する国会議員の超党派の国会議員でつくる「みんなで靖国神社に参拝する国会議員の会」(会長・尾辻秀久参議院議員)は、十月十八日午前八時、靖国神社に参拝した。

参拝後、記者会見に臨んだ尾辻会長は、安倍晋三首相が参拝を見送っていることについて「自衛隊の復旧に政府をあけて取り組んでいる最中であり、優先してちゃんとやれというのが、英霊のお気持ちだと思っております。



向へと本館へ参拝する国会議員の会=10月18日、靖国神社で

台風19号・21号、豪雨による東日本各地の被災者の皆様に謹んでお見舞い申し上げます

令和元年10月 被災者の皆様に謹んでお見舞い申し上げます

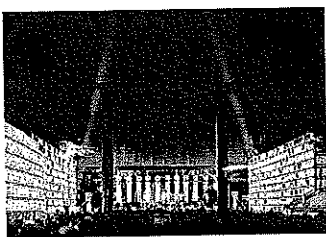
天皇陛下が即位を内外に宣明される「即位の礼」の中心儀式「即位礼正殿の儀」が10月22日、186の国や国際機関の代表者を含む約2000人が参列して皇居・宮殿「松の閣」で行われた。天皇陛下は高御座と呼ばれる壇に昇られ、「上皇陛下が三十年以上にわたる御在位の間、常に国民の幸せと世界の平和を願われ、いかなる時も国民と善業を共にされながら、その御心を御自身のお姿でお示しになつてきたことに、改めて深く思いを致し、ここに、国民の幸せと世界の平和を常に願われ、国民に寄り添いながら、憲法にのっとり、日本国及び日本国民統合の象徴としてのつとめを果たします」と誓われた。象徴天皇として、国民のために祈る姿は昭和天皇から上皇陛下へと引き継がれ、戦後生まれの今上陛下が間近でご覧になり、学んでこられたからこそのお言葉だと拝察することのお言葉と拝察すること。感謝の気持ちになったのは、筆者だけではないだろう。▼「世界の平和」は陛下が5月、即位後に国民の代表と初めて面会した「即位後親見の儀」や一般参賀のお言葉でも述べられている。平成に続き令和の時代も必ずや平和な時代とすべく、恒久平和を希求する遺族会を次世代に繋げる努力を怠ってはならない。(M)

令和二年版 靖国カレンダーを 家庭にかけましょう

申し込み方法 維持費(一)五〇〇円(送料別途)を添えて

①英霊にこたえる会靖国カレンダー 業務部(〒100-0001 東京都千代田区九段北三丁目一) 靖国神社遊就館内 電話03-3261-6441 FAX03-3261-7425 http://eizainkokoraeukai.com のいずれか

②別冊申込書で、お住まいの「英霊」にこたえる会都道府県本部宛。部数は一部(二口)から取り扱っており、送料は「靖国カレンダー」本部宛、または「靖国カレンダー」業務室に、お問い合わせ下さい。



7-8月 期間中約16万人の出入で賑わった平成30年 靖国みたままつり(毎年7月13日~16日)

英霊の御心を 次の世代に伝えましょう

秋季慰霊祭を挙

秋篠宮皇嗣同妃両殿下御臨場

千鳥ヶ淵戦没者墓苑

東京・千代田区の千鳥ヶ淵戦没者墓苑で十月十八日、秋篠宮皇嗣同妃両殿下御臨場のもと、創建六十周年記念秋季慰霊祭がしめやかに執り行われた。慰霊祭には全国各地から参集した遺族、同墓苑奉仕会の会員、統合療養会議議長をはじめ陸・海・空各幕僚長、各自衛隊代表部隊、在日駐在武官などが参拝し、戦没者の冥福を祈った。

創建六十周年記念秋季慰霊祭は、内閣総理大臣代理、日本遺族会水落敏栄会長ら六百人が参列し午後一時、秋篠宮皇嗣同妃両殿下御臨場で挙行された。

開式の辞に次いで、陸上自衛隊東京中央音楽隊の奏樂により国歌斉唱が行い、献茶の儀、津島雄

二奉仕会会長式辞、昭和天皇御製奉誦、舞踊、上皇陛下御製奉誦、詩舞、童謡唱歌奉唱では音羽ゆりかご会による「海ゆかば」「里の秋」「みかんの花咲く丘の三曲が奉唱された。

内閣総理大臣による追悼の辞、代理代読「あ

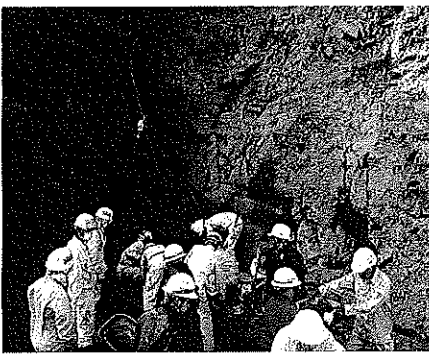
下ご英霊に対し深々と御拝礼、両殿下に合わせ参列者一同が拝礼し、黙禱を捧げた。秋篠宮皇嗣同妃両殿下が御臨場の代表部隊が拝礼、水落敏栄会長をはじめ来賓の献花が行われ、遺族ら参列者の焼香と続き、献茶のうちに式典は終了した。

昭和二十八年以降政府派遣団が遺骨収集したものの、戦後海外から帰還した部隊や個人が持ち帰ったもの及び海外において

硫黄島で遺骨収集

本会から6人が参加協力

日本戦没者遺骨収集推進協会は、九月二十四日から十月八日の期間で硫黄島遺骨収集派遣(第一)派遣団は、事前に掘削



北観音付近の場で収容作業に従事する団員 = 9月27日、硫黄島で

調査立会団が現地調査したうえで選定した壕等、第一回収派遣団の外に継続隊もある、硫黄島北側の八海岸と外周道路

との間にある地下壕、北端コーストガドから北観音付近にかけての外周道路側の地下壕及び滑走路下地下壕等で収容作

業を行った。今回派遣団が収容した遺骨は四柱で、遺骨は島内への厚生労働省事務所棟に仮安置された。

なお、派遣団は台風十九号の影響により、予定一日繰り上げ十月八日に入間基地に無事帰還した。

令和元年十月十八日、「みんなが参拝する国会議員の会」で参拝した百六十五人(代理人含む)の衆、参議員は次のとおり。

(党派別、敬称略)

議員本人参拝

- ▲衆議院
- 「自民党」逢沢一郎、青山周平、あきもと司、池田道孝、井上信治、井林辰憲、今村雅弘、岩田和元、中谷真一、中村裕之、親衛藤三郎、大車正
- ▲参議院
- 「自民党」逢沢一郎、青山周平、あきもと司、池田道孝、井上信治、井林辰憲、今村雅弘、岩田和元、中谷真一、中村裕之、親衛藤三郎、大車正

- 中山泰秀、西田昭二、馳浩、原田義昭、平井卓也、福山守、藤丸敏、古屋圭三、細田健一、堀内詔樹、三ツ林裕一、宮内秀樹、宮澤博行、務台俊介、武藤敏治、齋和生、山口俊一、山下貴司、山本有一、和田義明
- 「国民民主党」源馬謙太郎
- 「NHKから国民を守る党」丸山穂高
- 「無所属」重徳和彦
- ▲参議院
- 「自民党」青山繁晴、赤池誠章、有村淳子、石井

- 正弘、磯崎仁彦、岩井茂樹、宇都隆史、岡田英、尾辻秀久、小野田紀美、佐藤信秋、佐藤正久、清水真人、滝波宏文、植根芳文、豊田俊郎、中曽根弘文、中西哲、野村哲郎、馬場成志、堀井巖、舞立昇治、牧野たかお、松村祥史、三木亨、水落敏栄、三宅伸吾、宮本史郎、山田宏、山谷えり子、山本順三
- 「日本維新の会」東徹、鈴木定男
- ▲参議院
- 議員代理参拝

- 矢倉生、三原朝彦、宮下俊一、山口泰明、山田賢大、岡孝孝、小淵優子、堀山弘志、門博文、加藤勝信、金子隆平、金田勝年、神山佑市、木原敏、熊田裕通、堀谷立、新藤義孝、鈴木俊一、竹下直、田中一徳、棚橋泰文、谷川弥一、土屋昭子、寺田稔、渡海紀三朗、水岡桂子、西村康稔、丹羽秀樹、根本幸典、野田聖子、橋本岳、藤原典弘、福井照、藤原崇、古川康、古川慎久、細田博之、松本純、三ツ

- 「自民党」赤澤亮正、あべ俊子、甘利明、石塚茂久、えの貴一郎、江渡隆徳、大岡孝孝、小淵優子、堀山弘志、門博文、加藤勝信、金子隆平、金田勝年、神山佑市、木原敏、熊田裕通、堀谷立、新藤義孝、鈴木俊一、竹下直、田中一徳、棚橋泰文、谷川弥一、土屋昭子、寺田稔、渡海紀三朗、水岡桂子、西村康稔、丹羽秀樹、根本幸典、野田聖子、橋本岳、藤原典弘、福井照、藤原崇、古川康、古川慎久、細田博之、松本純、三ツ

明、残存遺骨に関する情報提供を呼びかけた。また、ワレモ村に民泊して、住民の証言に基づき埋骨地を試掘するなどして、推定十五柱を収容し、西ニューブリテン州博物館に安置した。

派遣団は西ニューブリテン州からポート・フレモントまで移動しながら、旧日本軍が転進した経路上の村落を訪問し、ポスト・パンフレットを配布して現地住民に対し事業趣旨説明してホマリンからカレ

の活動状況等の報告があった。特に日本遺族会への分担金の問題は深刻で議論を深めなければならぬと意見があった。何れも今後の遺族会運営に重要な課題として、報告された。

題であり白熱した議論が交わされた。本会が検討している「今後の遺族会を考える特別委員会」の来年五月の答申に向けて反映されるよう、報告された。

第三と第一で開催

特別委員会の答申にむけて議論

十月十六、十七日の両日、和歌山市の「和歌山マリナシティホテル」で七十二人が出席して第三ブロック会議が開催された。さらに同日、十三、十四日の両日は、勝浦市の「勝浦ホテル」で六十七人が出席し

「自民党」赤澤亮正、あべ俊子、甘利明、石塚茂久、えの貴一郎、江渡隆徳、大岡孝孝、小淵優子、堀山弘志、門博文、加藤勝信、金子隆平、金田勝年、神山佑市、木原敏、熊田裕通、堀谷立、新藤義孝、鈴木俊一、竹下直、田中一徳、棚橋泰文、谷川弥一、土屋昭子、寺田稔、渡海紀三朗、水岡桂子、西村康稔、丹羽秀樹、根本幸典、野田聖子、橋本岳、藤原典弘、福井照、藤原崇、古川康、古川慎久、細田博之、松本純、三ツ

「自民党」赤澤亮正、あべ俊子、甘利明、石塚茂久、えの貴一郎、江渡隆徳、大岡孝孝、小淵優子、堀山弘志、門博文、加藤勝信、金子隆平、金田勝年、神山佑市、木原敏、熊田裕通、堀谷立、新藤義孝、鈴木俊一、竹下直、田中一徳、棚橋泰文、谷川弥一、土屋昭子、寺田稔、渡海紀三朗、水岡桂子、西村康稔、丹羽秀樹、根本幸典、野田聖子、橋本岳、藤原典弘、福井照、藤原崇、古川康、古川慎久、細田博之、松本純、三ツ

「自民党」赤澤亮正、あべ俊子、甘利明、石塚茂久、えの貴一郎、江渡隆徳、大岡孝孝、小淵優子、堀山弘志、門博文、加藤勝信、金子隆平、金田勝年、神山佑市、木原敏、熊田裕通、堀谷立、新藤義孝、鈴木俊一、竹下直、田中一徳、棚橋泰文、谷川弥一、土屋昭子、寺田稔、渡海紀三朗、水岡桂子、西村康稔、丹羽秀樹、根本幸典、野田聖子、橋本岳、藤原典弘、福井照、藤原崇、古川康、古川慎久、細田博之、松本純、三ツ

第3ブロック会議で挨拶する市来健之助副会長=10月16日、和歌山市で



ご臨席される秋篠宮皇嗣同妃両殿下御臨場 = 10月18日、千鳥ヶ淵戦没者墓苑で

「自民党」赤澤亮正、あべ俊子、甘利明、石塚茂久、えの貴一郎、江渡隆徳、大岡孝孝、小淵優子、堀山弘志、門博文、加藤勝信、金子隆平、金田勝年、神山佑市、木原敏、熊田裕通、堀谷立、新藤義孝、鈴木俊一、竹下直、田中一徳、棚橋泰文、谷川弥一、土屋昭子、寺田稔、渡海紀三朗、水岡桂子、西村康稔、丹羽秀樹、根本幸典、野田聖子、橋本岳、藤原典弘、福井照、藤原崇、古川康、古川慎久、細田博之、松本純、三ツ

「自民党」赤澤亮正、あべ俊子、甘利明、石塚茂久、えの貴一郎、江渡隆徳、大岡孝孝、小淵優子、堀山弘志、門博文、加藤勝信、金子隆平、金田勝年、神山佑市、木原敏、熊田裕通、堀谷立、新藤義孝、鈴木俊一、竹下直、田中一徳、棚橋泰文、谷川弥一、土屋昭子、寺田稔、渡海紀三朗、水岡桂子、西村康稔、丹羽秀樹、根本幸典、野田聖子、橋本岳、藤原典弘、福井照、藤原崇、古川康、古川慎久、細田博之、松本純、三ツ

「自民党」赤澤亮正、あべ俊子、甘利明、石塚茂久、えの貴一郎、江渡隆徳、大岡孝孝、小淵優子、堀山弘志、門博文、加藤勝信、金子隆平、金田勝年、神山佑市、木原敏、熊田裕通、堀谷立、新藤義孝、鈴木俊一、竹下直、田中一徳、棚橋泰文、谷川弥一、土屋昭子、寺田稔、渡海紀三朗、水岡桂子、西村康稔、丹羽秀樹、根本幸典、野田聖子、橋本岳、藤原典弘、福井照、藤原崇、古川康、古川慎久、細田博之、松本純、三ツ

「自民党」赤澤亮正、あべ俊子、甘利明、石塚茂久、えの貴一郎、江渡隆徳、大岡孝孝、小淵優子、堀山弘志、門博文、加藤勝信、金子隆平、金田勝年、神山佑市、木原敏、熊田裕通、堀谷立、新藤義孝、鈴木俊一、竹下直、田中一徳、棚橋泰文、谷川弥一、土屋昭子、寺田稔、渡海紀三朗、水岡桂子、西村康稔、丹羽秀樹、根本幸典、野田聖子、橋本岳、藤原典弘、福井照、藤原崇、古川康、古川慎久、細田博之、松本純、三ツ

第3ブロック会議で挨拶する市来健之助副会長=10月16日、和歌山市で

「自民党」赤澤亮正、あべ俊子、甘利明、石塚茂久、えの貴一郎、江渡隆徳、大岡孝孝、小淵優子、堀山弘志、門博文、加藤勝信、金子隆平、金田勝年、神山佑市、木原敏、熊田裕通、堀谷立、新藤義孝、鈴木俊一、竹下直、田中一徳、棚橋泰文、谷川弥一、土屋昭子、寺田稔、渡海紀三朗、水岡桂子、西村康稔、丹羽秀樹、根本幸典、野田聖子、橋本岳、藤原典弘、福井照、藤原崇、古川康、古川慎久、細田博之、松本純、三ツ

「自民党」赤澤亮正、あべ俊子、甘利明、石塚茂久、えの貴一郎、江渡隆徳、大岡孝孝、小淵優子、堀山弘志、門博文、加藤勝信、金子隆平、金田勝年、神山佑市、木原敏、熊田裕通、堀谷立、新藤義孝、鈴木俊一、竹下直、田中一徳、棚橋泰文、谷川弥一、土屋昭子、寺田稔、渡海紀三朗、水岡桂子、西村康稔、丹羽秀樹、根本幸典、野田聖子、橋本岳、藤原典弘、福井照、藤原崇、古川康、古川慎久、細田博之、松本純、三ツ

「自民党」赤澤亮正、あべ俊子、甘利明、石塚茂久、えの貴一郎、江渡隆徳、大岡孝孝、小淵優子、堀山弘志、門博文、加藤勝信、金子隆平、金田勝年、神山佑市、木原敏、熊田裕通、堀谷立、新藤義孝、鈴木俊一、竹下直、田中一徳、棚橋泰文、谷川弥一、土屋昭子、寺田稔、渡海紀三朗、水岡桂子、西村康稔、丹羽秀樹、根本幸典、野田聖子、橋本岳、藤原典弘、福井照、藤原崇、古川康、古川慎久、細田博之、松本純、三ツ

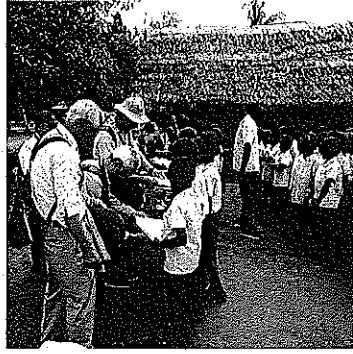
「自民党」赤澤亮正、あべ俊子、甘利明、石塚茂久、えの貴一郎、江渡隆徳、大岡孝孝、小淵優子、堀山弘志、門博文、加藤勝信、金子隆平、金田勝年、神山佑市、木原敏、熊田裕通、堀谷立、新藤義孝、鈴木俊一、竹下直、田中一徳、棚橋泰文、谷川弥一、土屋昭子、寺田稔、渡海紀三朗、水岡桂子、西村康稔、丹羽秀樹、根本幸典、野田聖子、橋本岳、藤原典弘、福井照、藤原崇、古川康、古川慎久、細田博之、松本純、三ツ

「自民党」赤澤亮正、あべ俊子、甘利明、石塚茂久、えの貴一郎、江渡隆徳、大岡孝孝、小淵優子、堀山弘志、門博文、加藤勝信、金子隆平、金田勝年、神山佑市、木原敏、熊田裕通、堀谷立、新藤義孝、鈴木俊一、竹下直、田中一徳、棚橋泰文、谷川弥一、土屋昭子、寺田稔、渡海紀三朗、水岡桂子、西村康稔、丹羽秀樹、根本幸典、野田聖子、橋本岳、藤原典弘、福井照、藤原崇、古川康、古川慎久、細田博之、松本純、三ツ

第3ブロック会議で挨拶する市来健之助副会長=10月16日、和歌山市で

好問 友訪 霊善 慰親 東部ニューギニアを實施 トラック・パラオ諸島を實施 各地で亡き父の冥福祈る

慰霊友好親善事業が実施され、東部ニューギニア、トラック・パラオ諸島の各地に四十二人の遺児が参加した。一行は亡き父の眠る各地、各海域を訪れ、慰霊追悼を行うとともに、小学校や病院を訪問し、学用品や車椅子等を寄贈し民間外交に努めた。特にトラック・パラオ諸島は台風十九号の影響で日程に支障をきたした。



サワリン小学校で児童らに学用品等を寄贈する団員＝10月7日、ウエワクで

東部ニューギニア 東部ニューギニア慰霊友好親善訪問団(総括団長・田原政信本会監事他二十五人)は十月三日、東京・靖国国会館に集合し、結団式を行い、当日夜、成田空港を出発し、翌朝オーストラリアのブリスベン経由でバブアニューギニアのポートモレスビーに到着。その後二行は二班に分かれ、それぞれ緑の地へと向かった。チャーター機を利用し、A班は、バラム、ソナム、アロヘミ、アスパイン、イマス、ムリツク、スナンパラを、B班はサラモア、ナバリバ、マタン州屏風山、ブス河と各地の上空を遊覧し、亡き父への思いを馳せた。その後、A班はソナム、B班はサラモアにある日本政府建立の「ニューギニア戦没者の碑」にて全戦没者追悼式を挙げる。ご冥霊に感謝の誠を捧げた。また、友好親善では、A班がウエワク総合病院へ、B班はラエのアンガウ総合病院へそれぞれ車椅子を寄贈した。さらに、ウエワクのベタニヒルズ小学校、サワリン小学校を訪れ、児童らに学用品等を寄贈し、民間外交に努めた。

日本遺族会への賛助金のお願ひ

日本遺族会では、戦没者の英霊追悼や遺族支援、慰霊友好親善事業、遺骨収集推進等各種事業の活動のために賛助金を募っております。本会の活動の趣旨にご理解を賜り何卒ご賛同いただけますようお願い申し上げます。

●郵便振替 00100-2040406
●みずほ銀行 丸善店 普通預金 00980000
※口座番号：一般財団法人日本遺族会(株) 一五〇三三〇一

遺児の参加者募集

慰霊友好親善事業

募集要項はつぎのとおり。
▼時期及び地域 実施概要参照
▼参加費 10万円
東京等に集合し、結団式及び渡航に係る説明会を行う。なお、集合場所まで及び解散場所からの交通機関は自身の手配になる。また、移動に係る国内交通費及び帰国時



コロール市内の病院を訪問、スタッフと談笑する 江田総括団長＝10月16日、パラオで

空海より出発した。トラック班は、チューク(旧春島)に到着し、南水道、西水道、愛国丸ロールに到着。翌日より沈没地点、夏島を訪れ、亡き父の冥福を祈った。パラオ班は、十五日コロールに到着。翌日よりコロール島内、ペリリユー島の病院、小学校、コロール市内の病院、ペリリユー島内の小学校を訪問し、学用品や、車椅子等を寄贈し、現地の方々と交流を深めた。トラック班は、十八日、春島にて、パラオ班は、十八日ペリリユー島の「西太平洋戦没者の碑」にて、全戦没者追悼式を行い、御霊の安らかならんことを祈った。

本会への賛助金のお礼

本紙(同通)でもお願ひしている本会への賛助金につきまして、ご賛同いただきました左記の方々に、お礼申し上げます。

なお、大変急ぎではございますが都道府県名については、送金方法により寄せていただき、記入項目に不明な点(戦没者の部隊等)があれば各遺族会に相談し、条件を満たした上で提出願いたい。なお、申込多数の場合は選考となる。

また、巡拝地域や実施時期等は、相手国や交通機関等の事情で変更、延期、または中止となる場合がございます。ご了承願います。なお、参加者の高齢化に考慮し、看護師が同行する。

人 立原智子、小山孝子、芳賀京子、山本陽子、岸本和博、鈴木敏子、岡本君子、増山信孝、工藤綾子、薄羽功、太田照美、福田みよ子、正木敏順、鈴木一子、岡野和子、齋藤宏爾、小保方善美代、志賀クニ子、根本政子、谷本嘉昭、吉川孝、岡野渥子、池田長美、安彦孝子、小崎和代、牧野孝子、桑原茂樹、松井仙吉、堤元、井川三千代、石川美代子、坂本淑子、遠藤カオル、フジムラヨシヤス、キタムラミエコ、サトウフミオ(以上、十月一日から十月末日まで) 皆様からいただきました賛助金は、本会が実施する各種慰霊事業などの活動費用に利用させていただきます。誠にありがとうございます。

実施概要

| (広域地域) | | | |
|---------------|------------------|------|-------------|
| 実施地域 | 実施時期 | 募集人員 | 申込締切 |
| 1 台湾・パシフィック海峽 | 令和2年 2月3日～2月9日 | 30人 | 令和元年 12月3日 |
| 2 ビスマルク諸島 | 令和2年 2月12日～2月19日 | 40人 | 令和元年 12月12日 |
| 3 フィリピン(2次) | 令和2年 3月13日～3月20日 | 120人 | 令和2年 1月14日 |
| 4 中国 | 令和2年 3月23日～3月31日 | 80人 | 令和2年 1月23日 |

| (特定地域) | | | |
|------------|------------------|------|-------------|
| 実施地域 | 実施時期 | 募集人員 | 申込締切 |
| 1 西部ニューギニア | 令和2年 1月17日～1月26日 | 36人 | 令和元年 11月18日 |
| 2 東部ニューギニア | 令和2年 2月12日～2月19日 | 36人 | 令和元年 12月12日 |
| 3 ミャンマー | 令和2年 2月25日～3月4日 | 36人 | 令和元年 12月23日 |

靖国神社 崇敬奉賛会事務局

〒102-8246 東京都千代田区九段北 三二-1-1
電話 03-3261-8143(直通)
※受付時間 平日午前9時～午後5時

●記念事業ご奉賛金

一口金五、〇〇〇円(何口でも可)
※お振込みを希望される場合は、お振込み先を明記してください。

●記念事業にご奉賛いただきました方は、受納月から一年間の崇敬奉賛会正会員としてご待遇申し上げます。

○記念事業総経費：二十億円
○神社拠出金：十億円
○奉賛金目標：十億円
○奉賛金期間：本年十二月末

靖国神社御創立 百五十年記念事業

御創立百五十年記念事業
●本陣 靖国神社御創立百五十年記念事業
●靖国神社御創立百五十年記念事業
●靖国神社御創立百五十年記念事業

http://www.yasukuni.or.jp/150th/

巡回特別企画展を開催

福島県で四、三八八人が来場

昭和館

昭和館で毎年実施している巡回特別企画展「戦中・戦後のくらし福島展」が、十月十七日から二十七日まで福島市のとうほう・みんなの文化センター(福島県文化センター)三階展示室で開催された。今回は同会場で、昭和館、しょうけい館、平和祈念展示資料館という国立施設三館で、同時に企画展が開催され、四千三百八十八人が来場した。

東京都の九段下にある 雨波書の中、三十五回目 資料館という国立施設二 昭和館では、平成十三年 の開催となった今回の展 館との同時企画展となっ 覧会は、東京にあるしよ た。さらに公益財団法人 福島県文化振興財団主催 催されている。台風や大 うけい館、平和祈念展示 福島県文化振興財団主催

の東京2020応援アロ グラム「学ぼう、感動 を」も同じ会場で開催 されたことから、同じ会 場内で四つの展覧会を見 ることができた。



展示資料を熱心に見学する来場者＝福島市で

昭和館の「戦中・戦後のくらし 福島展」では、約二百九十点の展示資料のうち、福島県に関係する資料が約八十点紹介された。会場には、田村市の遺族が所蔵していた、出征兵士に送られた虎の絵が描かれた千人針や、福島

工業学校在学中に勤労作 業を記録した作業日誌 等、当時の人々の想いを 伝える資料が展示された。 戦中・戦後の福島県に ゆかりのある資料が多数 紹介され、福島県ゆかり の文化人として円谷英 二、山川惣治、古関裕而

を取り上げたコーナーも 注目を集めた。 また、県内に住む遺 族の方々の遺骨収集を慰 霊友好親善などの活動も 紹介された。 映像コーナーでは戦 中・戦後の福島県に関わ るニュース映画や、昨年

撮影された、県内在住の 遺族の方々の戦中から戦 後にかけての労苦を語る 証言映像も会場上で映さ れた。 二十四日には、文化セ ンターの大ホールで、令 和元年度福島県戦没者慰 霊祭が開かれ、参列遺族 が多数来場され、好評を 博した。

明子へ

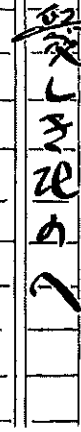
父は軍人の本分を盡して、護國の人柱となる。明子は父の死を知り寂しく悲しく思ふだらうが、決して心配せぬ様にして欲しい。父は死しても、霊は明子と共に毎日一緒に暮らしてゐる。明子が立派な人になる様に、病氣もせず元気に学校に行ける様に、神様に祈つてゐる。

父が応召に際して書き付けた訓をよく守つて、美しい心の人になる様に心掛けて欲しい。

幼いお前をよく此つたが、立派な父の後継人になつて欲しいかつたからだ。何卒許してくれ。母の教へをよく守つて孝行をして欲しい。お前が立派な人になるのを、父は何より楽しみにしてゐる。

昭和十九年五月三十日

父



明子へ

昭和十九年五月三十日

父

【原文のまま】
昭和元年十一月靖国神社頭掲示
愛しきものへ

九段短歌

遺著 安元 百首

追憶の御心の声厳かに不戦の誓い我が身を包む
歴代の陛下お成りの追憶式三度の参列に父の賜の
南相馬市 原 芳広
甲州市 三森 一雄
お言葉述べらるる陛下の声低く哀悼の重きがゆ
おまか 千葉市 石橋 嘉子
再びは見らむガダルカナルへの平和な海こそ願望に
むかふ 富士吉田市 菅沼 勝由
サイパンの浜に埋れし貝殻を手のひらにのせ愛しと思
う コーリアンの歌間に伏せれば聞こえる赤土ふるわせ
銃声絶えず 青森県 田中 恭子
出で立ちも頼も声すら知らぬ父の残され背広ひとり

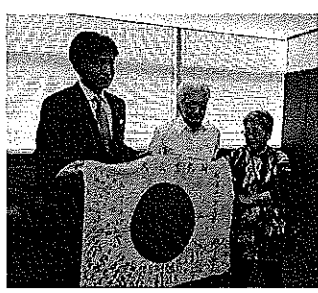
抱きしむ 呉市 大上 蕨香
戦いに出で征く前の父の背を涙で流せしう母の恋し
き 甲州市 数野 學子
出征も英霊の父迎へしもの歌なりき久々に下車す
わが命続く限りは歌歌まむ戦火に散りしやさし父を
小諸市 塩川 篤子
言水八重子 佐世保市

今月は令和最初の終戦の日の「全国戦没者追悼式」に関する歌を三首頂戴しました。当日は靖国神社では五万人の参拝者が英霊に祈りを捧げたそうです。また参道横で開催された「戦没者追悼中央国民会堂」には千五百人が参集し、総理大臣及び関係の靖国神社参拝の再開と定着に努力し、ひいては終戦三十周年の節目の年の天皇・皇后陛下の行幸啓を最後に絶え絶えしている天皇陛下のご参拝の道を開くべく、国民運動の展開を誓う声明を発しました。「英霊も」親拝を心にかき喜ばれる事でしょう。

2県で日章旗返還

OBONソサエティ
本会が厚生労働省の委託を受け実施している「戦没者遺留品の返還に伴う調査」事業で、戦没者の遺品の返還活動をしていけるOBONソサエティから本会に照会があった遺品について、愛知県と福岡県で遺族が判明し、遺族に返還された。愛知県では、フィリピン・ルソン島で戦死した浦山隆二さんの日章旗が長男の隆光さんへ返還された。当初、秋田県遺族連合会の調査で隆三さんが仙北市の出身で、遺族が愛知県在住であることが分かり、愛知県遺族連合会が遺族を捜索し、一宮市に住んでいる隆光さんの所在を突きとめた。九月十八日、一宮市役所で返還式が行われ、中野正康市長から隆光さんと妻の和美さんに日章旗が引き渡された。隆光さんは「抱っこされたこともありませんが、やはり父はいたんだなあ。父も私に会いたかつたのでないか」と述べた。

福岡県では、米シガソ州のエリカ・カーメソールさんが父安長の祖父が、若松区遺族会の調査で、北九州市若松区出身の復員兵だった前田健一さん(享年八十五歳)の遺骨が戻ってきたこと、父も日章旗も戻ってきた自分すら戻ってこない人もおられる。戦後は終わっていない」と話した。



中野市長(左端)から日章旗を受け取る隆光さんと妻の和美さん
=9月18日、一宮市役所で

購読料据置きのお知らせ
令和元年十月一日より消費税率が十パーセントに引き上げられましたが、日本遺族通信、年間購読料が千五百六十円は、据え置きとさせていただきます。